

## 第8回 次世代育成環境ランキング (2012年度)

(主要59都市、東京23区)

### 1. 本調査について

- 1) 内容: 各種統計データなどを当NPO独自の基準で評価したもの。
- 2) 目的: 次世代育成環境(出産、乳幼児保育、児童福祉、児童養護、児童保育、母子福祉、小児医療など)は自治体間に相当の格差が見られる。次世代育成支援対策推進法によって提出が義務付けられた「行動計画」(自治体、従業員301名以上の事業主による)についても取り組み姿勢に差があると思われる。「市民による健全な監視役」として、各都市の環境評価を行うことで、自治体の動機付けと一般市民の意識向上に寄与する「頑張っている自治体の私設応援団」となることを目指すもの。
- 3) 調査対象: 東京23区、地方自治法の定める政令指定都市と中核市の合計82都市
- 4) 今後の予定: 一回(春頃)継続して作成する。

### 2. 調査結果

#### 1) 「次世代育成環境ランキング」2012年度

##### ① 19政令市の上位7自治体

	総合 順位	出産 環境	乳幼児 保育	児童 福祉	児童 養護	児童 保育	母子 福祉	小児 医療
北九州市	1位	3位	1位	5位	1位	14位	5位	1位
大阪市	2位	6位	5位	1位	4位	1位	3位	14位
岡山市	3位	2位	3位	8位	2位	10位	18位	7位
京都市	4位	1位	4位	15位	3位	15位	4位	13位
神戸市	5位	9位	12位	2位	8位	3位	1位	10位
新潟市	6位	4位	2位	4位	19位	5位	12位	16位
静岡市	7位	12位	6位	10位	11位	6位	13位	9位

##### ② 40中核市の上位12自治体

	総合 順位	出産 環境	乳幼児 保育	児童 福祉	児童 養護	児童 保育	母子 福祉	小児 医療
函館市	1位	1位	5位	3位	14位	3位	1位	2位
長崎市	2位	13位	4位	28位	14位	1位	31位	5位
久留米市	3位	15位	11位	8位	21位	10位	6位	4位
高知市	4位	10位	9位	6位	27位	2位	17位	13位
長野市	5位	16位	14位	7位	17位	4位	8位	14位
下関市	6位	4位	12位	2位	25位	8位	29位	10位
金沢市	7位	11位	2位	1位	5位	7位	36位	34位

秋田市	<b>8位</b>	7位	8位	26位	19位	24位	10位	8位
高松市	<b>9位</b>	17位	13位	12位	30位	6位	30位	16位
鹿児島市	<b>10位</b>	2位	18位	22位	2位	20位	4位	32位
和歌山市	<b>11位</b>	3位	24位	14位	1位	9位	23位	23位
郡山市	<b>12位</b>	18位	31位	37位	28位	15位	5位	3位

③ 東京 23 区の上位 7 自治体

	<b>総合 順位</b>	出産 環境	保育 環境	児童 福祉	幼児 保育	児童 保育	小児 医療
千代田区	<b>1位</b>	1位	1位	19位	1位	2位	12位
北区	<b>2位</b>	14位	2位	16位	3位	8位	9位
渋谷区	<b>3位</b>	2位	20位	12位	8位	22位	2位
新宿区	<b>4位</b>	4位	6位	2位	5位	4位	23位
杉並区	<b>5位</b>	17位	11位	8位	13位	16位	1位
墨田区	<b>6位</b>	8位	4位	1位	14位	5位	20位
台東区	<b>7位</b>	12位	5位	17位	2位	17位	19位

2) 東京 23 区

- ① 出産環境： 病院・診療所は千代田、渋谷、新宿が、医師・助産師・看護師などは千代田、新宿、文京充実。妊婦診断は荒川、豊島、渋谷が多い。
- ② 保育環境： 0-3歳児保育は北、葛飾、板橋が、病後児保育は中央、千代田、品川が、保育ママは江戸川、足立、中央が充実。待機児童は千代田、杉並、北が少ない。
- ③ 児童福祉： 児童福祉施設は墨田、新宿、目黒が充実。
- ④ 幼児保育： 幼稚園は千代田、台東、文京が充実。公立幼稚園の経費は板橋、豊島、葛飾が安い。
- ⑤ 児童保育： 学童クラブ施設は千代田、北、葛飾、学童クラブ運営は荒川、千代田、墨田が充実。
- ⑥ 小児医療： 平日夜間診療は杉並、渋谷、江戸川が、土曜診療は渋谷、杉並、世田谷が、日祭日診療は板橋、千代田、大田、杉並が、年末年始診療は杉並、世田谷、足立が充実。予防接種実施率は杉並、品川、中野が高い。

3) 主要 59 市

- ① 出産環境： 病院・診療所は札幌、函館、高知が、分娩取扱診療施設は札幌、岐阜、下関が、分娩医師助産師は京都、盛岡、秋田が多い。妊産婦・乳幼児健診相談は浜松、北九州、久留米、熊本が充実。
- ② 乳幼児保育： 保育施設は京都、高知、青森が、保育時間は横浜、青森、長崎、宮崎が、0-2歳児保育は新潟、青森、高知が、休日保育は岡山、宮崎、富山が、病後児保育は大阪、下関、岐阜が、常勤保育士は新潟、青森、高知が、ショートステイは北九州、富山、高知が、トワイライトステイは北九州、鹿児島、松山が充実。
- ③ 児童福祉： 児童福祉施設は新潟、高知、金沢が充実。

- ④ 児童養護： 児童養護施設は北九州、旭川、和歌山が充実。
  - ⑤ 児童保育： 児童センターは札幌、盛岡、長野が、学童クラブは大阪、高知、長崎が充実。
  - ⑥ 母子福祉： 母子生活支援施設は神戸、秋田、函館が充実。
  - ⑦ 小児医療： 平日夜間診療は北九州、柏、函館が、土曜診療は北九州、柏、大津が、日祭日診療は北九州、長崎、柏が、年末年始診療はさいたま、柏、尼崎が充実。
- 4) 特別表彰： 本調査の結果から、以下の自治体に「次世代育成優秀環境賞」を贈ることとした。  
新潟市、久留米市、新宿区

### 3. 当法人について

- 1) 名称： 特定非営利活動法人(NPO)エガリテ大手前
- 2) 設立： 2004年4月(NPO認証:2005年10月)
- 3) 趣旨： 少子高齢化が急速に進む中で、男女共同参画社会の形成は、我が国の今後の発展のための最重要課題である。しかしながら、各種の法規制や制度導入は進められているものの、女性を取り巻く環境は十分なものとはいえず、いまだに男女格差・差別や前近代的な出産・育児・就労が続いているのが実態である。また、育児休暇や介護休暇の取得率、保育所の待機児数、子育てセンターの利用率などを見ても、制度やシステムの改善に加えて、その普及定着化と、女性を取り巻く社会の意識変化が求められていると言えるだろう。ところが、我が国の官庁や企業での不祥事の内部告発が後を絶たないことを見ても、組織による自浄・改善機能だけに期待することは難しく、社会の適正な監視や牽制が求められると言えるだろう。この法人では、次世代育成支援対策推進法により自治体や企業などが作成する「行動指針」「行動計画」の評価などの調査・研究を行ない、公表並びに、広報・出版、講演を行うとともに、あわせて行政や企業などへの提言を行うことで、男女共同参画社会の形成促進に寄与することを目的としている。ついては、この活動に、客観性、中立性、良識性、かつ非営利性が求められるため、特定非営利活動法人(NPO)とするものである。
- 4) メンバー： 主婦やサラリーマンを中心に、弁護士、大学教授、公認会計士、医師、薬剤師、税理士、産褥ヘルパー、消費生活アドバイザー、シンクタンク研究者、社会福祉士、介護福祉士、統計専門家、アナリスト、中小企業診断士、衛生管理士、福祉サービス第三者評価調査者、フードアナリスト、宅地建物取扱主任など幅広い層からの参加を得ている。
- 5) URL： <http://egaliteo.com/>
- 6) 問合せ先： [furukubo1978@mercury.ne.jp](mailto:furukubo1978@mercury.ne.jp)

### 4. 参考資料

- ・ 調査の概要： <http://egaliteo.com/files/content/criteria2.pdf>
- ・ 本レポート： <http://egaliteo.com/files/content/rank2011.pdf>

以上